

神林地区

神林地区の簡易水道は、昭和40年に南大平・指合地区簡易水道が二級河川石川を水源として給水を開始しています。また河内地区簡易水道は昭和55年に二級河川百川の河内上流の表流水を水源として給水を開始しています。

南大平・指合地区簡易水道は、その後3回の変更認可を受け、水量拡張と取水地点の変更を行っています。

さらに、平成12年には道路・河川の整備や山林の荒廃による黄色濁度化の発生とトイレの水洗化など生活様式における水需要の変化に対応すべく、4回目の変更認可を受け、前処理ろ過施設の新設と配水池（高区・低区）の改良整備を行っています。

〔水源・配水施設〕



左の写真は、南大平・指合簡易水道施設、浄水場です。

施設内には、原水槽、薬剤注入装置、前処理濾過設備、着水井、緩速濾過池、調整井が整備されています。

今後は、高色濁度の発生が降雨時に起こることから、自動鑑識装置等の設置により、より安定した水質の確保に努める必要があると思われます。

右上の写真は、南大平・指合簡易水道の高区配水池施設で、貯水量 60.0 m³で滅菌施設も併設されています。

右下の写真は、同じく低区配水池で、貯水量 100.0 m³で滅菌施設も併設されています。

